

第2章 結果

第1節 問題行動の実体験の有無

先述のように本研究では、問題行動に対する青少年の意識と実態について明らかにするとともに、さまざまな背景要因との関連を検討することにより、現代青少年の問題行動対応策の有用な一資料を得ることを目的としている。問題の全体像についてありのままに把握するには、可能なかぎり地域や学校種別などに偏りのない大規模な調査が必要である。本年度の調査では、そうした大規模な調査に向けての予備的な質問紙を作成し、調査を実施した。本節では、まず各種問題行動の実体験の有無についてみていくことにする。

第1項 飲酒経験の有無

飲酒経験があるかないかについて、「1＝全くない」「2＝1～2度ある」「3＝時々ある」「4＝よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、飲酒したことがあると回答した者は、全体では79.4%であり、男女別では男子85.1%、女子73.1%であった(図2-1-1)。頻度別にみると、全体では「時々ある」という回答が39.0%ともっとも多く、男子では同じく「時々ある」(47.3%)、女子では「1～2度ある」(40.3%)という回答がそれぞれ多くみられた。以上の結果から、多くの高校生が飲酒経験を持っており、高校生において飲酒行動は特に非日常的な行動ではないことが明らかになった。

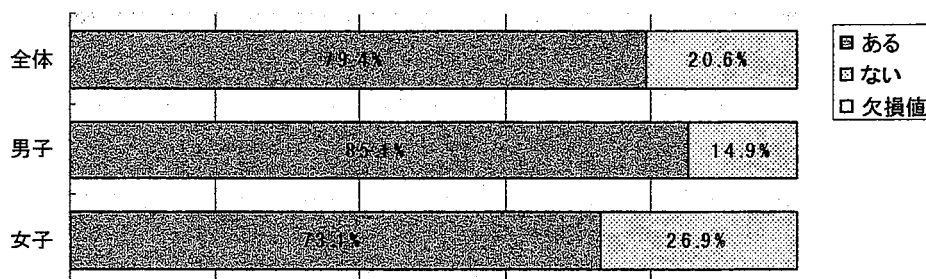


図2-1-1 飲酒経験

第2項 無免許運転経験の有無

無免許でバイクや車を運転した経験があるかないかについて、「1＝全くない」「2＝1～2度ある」「3＝時々ある」「4＝よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、無免許運転の経験があると回答した者は、全体では6.4%であり、男女別では男子10.8%、女子1.5%であった(図2-1-2)。頻度別にみると、全体および男女別ともに「全くない」という回答がもっとも多く、約90%からそれ以上の割合であった。また、無免許運転の経験があると回答した者の内訳をみると、男子では「1～2度ある」から「よくある」まで順に8.1%、1.4%、1.4%、女子では「時々ある」1.5%となっており、ごく少数ではあるが、経験者あるいは常習者がいることが明らかになった。

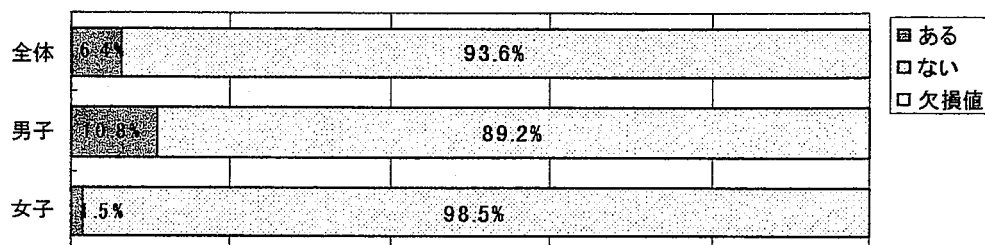


図2-1-2 無免許運転の経験率

第3項 自転車やバイク窃盗の経験の有無

他人の自転車やバイクを盗んだり勝手に使うという経験があるかないかについて、「1=全くない」「2=1～2度ある」「3=時々ある」「4=よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、そうした経験があると回答した者は、全体では7.1%であり、男女別では男子10.8%、女子3.0%であった(図2-1-3)。頻度別にみると、全体および男女別ともに「全くない」という回答がもっとも多く、約90%からそれ以上の割合であった。また、そうした経験があると回答した者の内訳をみると、男子では「1～2度ある」から「よくある」まで順に8.1%、1.4%、1.4%、女子では「1～2度ある」1.5%、「時々ある」1.5%となっており、ごく少数ではあるが、経験者あるいは常習者がいることが明らかになった。

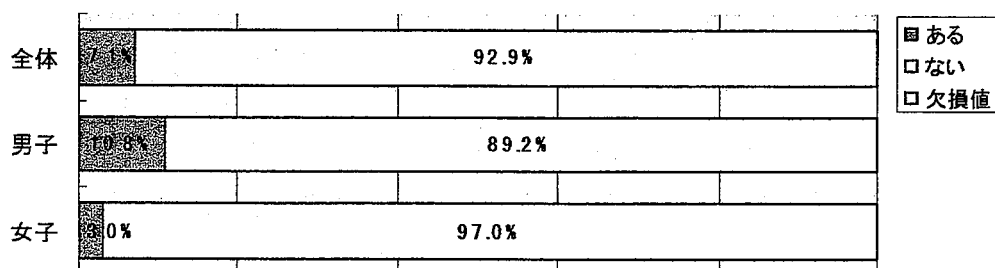


図2-1-3 自転車やバイク窃盗の経験率

第4項 万引き等の経験の有無

他人のお金や物を盗む経験があるかないかについて、「1=全くない」「2=1～2度ある」「3=時々ある」「4=よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、そうした経験があると回答した者は、全体では26.2%であり、男女別では男子33.4%、女子19.4%であった(図2-1-4)。頻度別にみると、全体および男女別ともに「全くない」という回答がもっとも多くみられた(男子67.6%、女子80.6%)。また、そうした経験があると回答した者の内訳をみると、男子では「1～2度ある」から「よくある」まで順に24.3%、6.8%、1.4%、女子では「1～2度ある」14.9%、「時々ある」4.5%となっており、少数ではあるが、経験者あるいは常習者がいることが明らかになった。

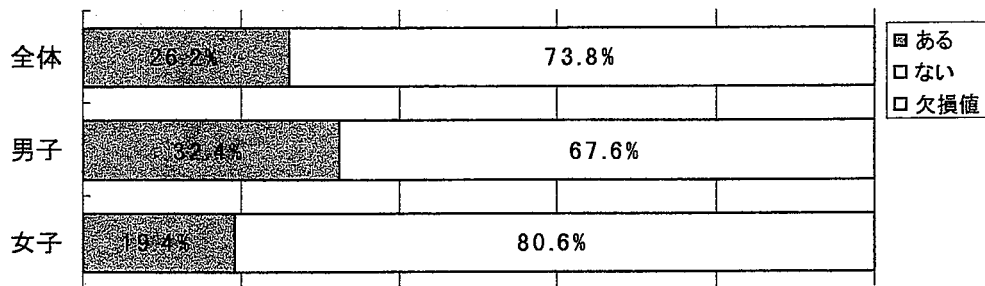


図2-1-4 万引き等の経験率

第5項 恐喝の経験の有無

人を脅して金品を取り上げる行動の経験があるかないかについて、「1 = 全くない」「2 = 1～2度ある」「3 = 時々ある」「4 = よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、そうした経験があると回答した者は、全体ではわずか0.7%であり、男女別では男子1.4%、女子ではあると回答した者は一人もいなかった(図2-1-5)。頻度別にみると、全体および男女別ともに「全くない」という回答がほとんどであり、ほぼ100%の割合であった。また、そうした経験があると回答した者の内訳は、男子のみで「1～2度ある」(1.4%)であった。以上の結果から、ほとんどの者が恐喝をした経験がないことが明らかになった。

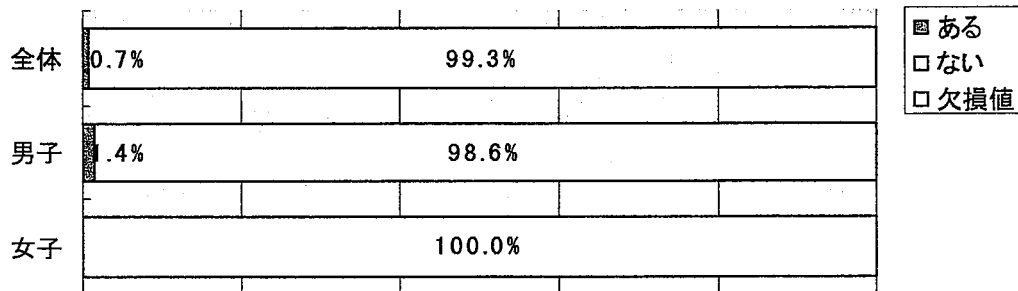


図2-1-5 恐喝の経験率

第6項 暴行の経験の有無

人を殴ったり蹴ったりしてケガをさせる経験があるかないかについて、「1 = 全くない」「2 = 1～2度ある」「3 = 時々ある」「4 = よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、そうした経験があると回答した者は、全体では30.5%であり、男女別では男子48.6%、女子10.4%であった(図2-1-6)。頻度別にみると、全体および男女ともに「1～2度ある」と回答がもっとも多く、全体では24.8%となっていた。また、そうした経験があると回答した者の内訳をみると、男子では「1～2度ある」から「よくある」ま

で順に40.5%、5.4%、1.4%、女子では「1～2度ある」7.5%、「時々ある」3.0%となっており、男子では約半数の者が経験があることが明らかになった。

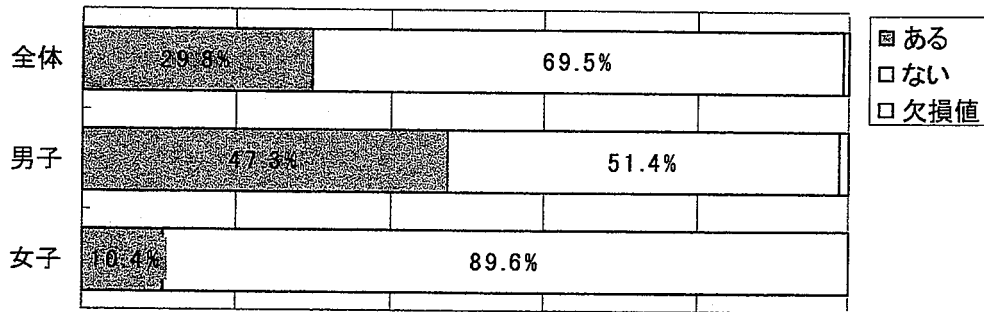


図2-1-6 暴行の経験率

第7項 薬物乱用の経験の有無

シンナーやドラッグ(覚醒剤・マリファナ等)など薬物乱用の経験があるかないかについて、「1=全くない」「2=1～2度ある」「3=時々ある」「4=よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、薬物乱用の経験があると回答した者は、全体ではわずか0.4%であり、男女別では男子1.4%、女子ではあると回答した者は一人もいなかった(図2-1-7)。頻度別にみると、全体および男女別ともに「全くない」という回答がほとんどであり、ほぼ100%の割合であった。また、そうした経験があると回答した者の内訳は、男子のみで「1～2度ある」1.4%であった。以上の結果から、ほとんどの者が薬物乱用の経験がないことが明らかになった。

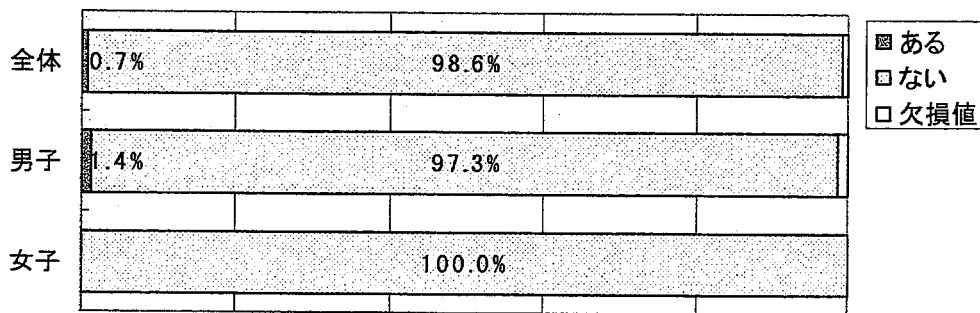


図2-1-7 薬物乱用の経験率

第8項 性行為を伴わない援助交際の経験の有無

お茶やデート、カラオケなどまでの援助交際の経験があるかないかについて、「1=全くない」「2=1～2度ある」「3=時々ある」「4=よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、経験があると回答した者は、全体では4.3%であり、男女別では男子8.1%、女子ではあると回答した者は一人もいなかった(図2-1-8)。頻度別にみると、全体お

よび男女別ともに「全くない」という回答がほとんどであった。また、そうした経験があると回答した者の内訳は、男子のみで「1～2度ある」1.4%、「よくある」2.7%であった。援助交際は、これまで女子高校生にみられる問題行動として取り上げられることが多かったが、今回の調査では女子では経験者がおらず、逆に男子において経験者がいるという結果であった。

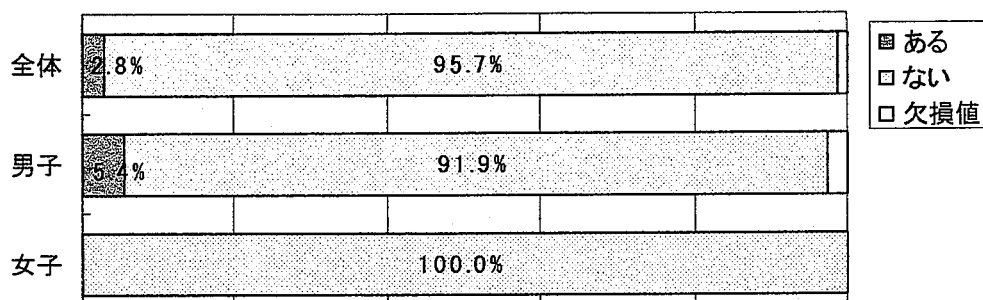


図2-1-8 性行為を伴わない援助交際の経験率

第9項 性行為を伴う援助交際の経験の有無

キスやセックスなど性行為を伴う援助交際の経験があるかないかについて、「1＝全くない」「2＝1～2度ある」「3＝時々ある」「4＝よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、経験があると回答した者は、全体ではわずか2.1%であり、男女別では男子2.8%、女子ではあると回答した者は一人もいなかった(図2-1-9)。頻度別にみると、全体および男女別ともに「全くない」という回答がほとんどであり、95～100%の割合であった。また、そうした経験があると回答した者の内訳は、男子のみで「時々ある」1.4%、「よくある」1.4%であった。前述の性行為を伴わない援助交際同様、女子では経験者がおらず、ごく少数ではあるが男子において経験者がいるという結果であった。

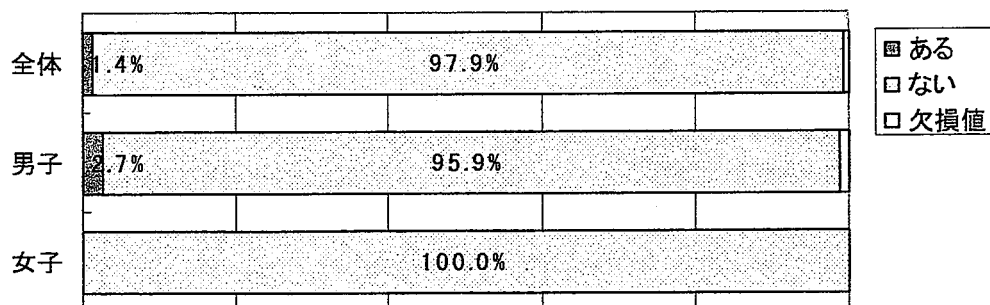


図2-1-9 性行為を伴う援助交際の経験率

第10項 性行為強要の経験の有無

相手の意志に関係なく、性的な行為を強要する経験があるかないかについて、「1＝全くない」「2＝1～2度ある」「3＝時々ある」「4＝よくある」の4段階評定で回答を求めた。その結果、経験があると回答した者は、全体では3.5%であり、男女別では男子2.7%、女子ではあると回答した者は一人もいなかった(図2-1-10)。頻度別にみると、全体および男女別ともに「全くない」という回答がほとんどであり、ほぼ100%の割合であった。また、そうした経験があると回答した者の内訳は、男子のみで「1～2度ある」2.7%であった。

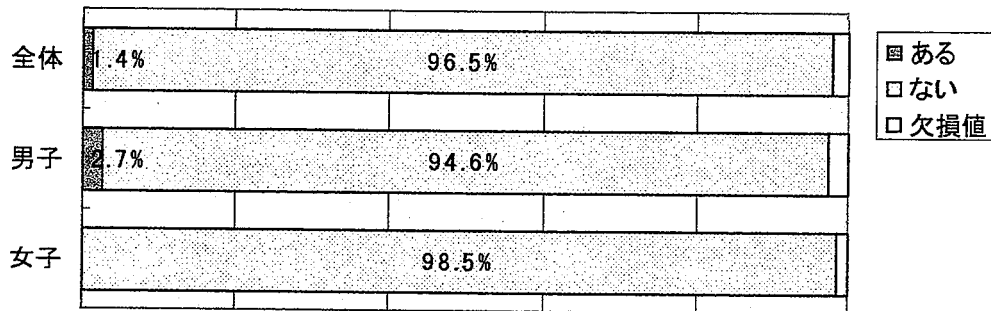


図2-1-10 性行為強要の経験率

第2節 問題行動に対する意識

本節では、各種問題行動に対してどれだけ「いけない」ことだと思えるか、といった道徳意識について明らかにする。

第1項 飲酒経験に対する意識

飲酒行動をいけないと思うかどうかという意識について、『お酒を飲むことはいけないことだと思える』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、お酒を飲むことはいけないと「全く思わない」と回答した者は15.6%、「あまり思わない」と回答した者は45.4%、「ややそう思う」と回答した者は19.9%、「とてもそう思う」と回答した者は3.5%であった(図2-2-1)。この結果、お酒を飲むことに対して、いけないことであるという意識が弱いことが明らかになった。男女別の内訳をみると、「全く思わない」「あまり思わない」まで男子では順に21.6%、48.6%、女子では順に9.0%、41.8%、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に16.2%、1.4%、女子では順に23.9%、6.0%であった。以上の結果、飲酒行動については、女子の方が男子よりも「いけないことである」という強く考えていることが明らかになった。

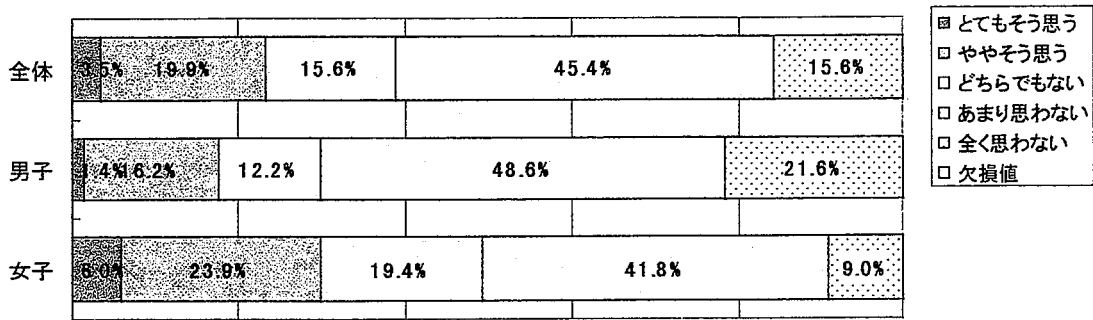


図2-2-1 飲酒に対する意識

第1項 無免許運転する行動に対する意識

無免許で車やバイクを運転することはいけないと思うかどうかという意識について、『無免許で車やバイクを運転することはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、無免許で車やバイクを運転することはいけないと「全く思わない」と回答した者は1.4%、「あまり思わない」と回答した者は5.0%、「ややそう思う」と回答した者は20.6%、「とてもそう思う」と回答した者は66.7%であった（図2-2-2）。この結果、無免許で車やバイクを運転する行動に対して、いけないことであるという意識が強いことが明らかになった。男女別の内訳をみると、「全く思わない」「あまり思わない」まで男子では順に2.7%、6.8%、女子では「全く思わない」と回答した者はおらず、「あまり思わない」と回答した者が3.0%、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に20.7%、51.4%、女子では順に10.4%、83.6%であった。以上の結果、無免許で車やバイクを運転する行動については、女子の方が男子よりも「いけないことである」とより強く考えていることが明らかになった。

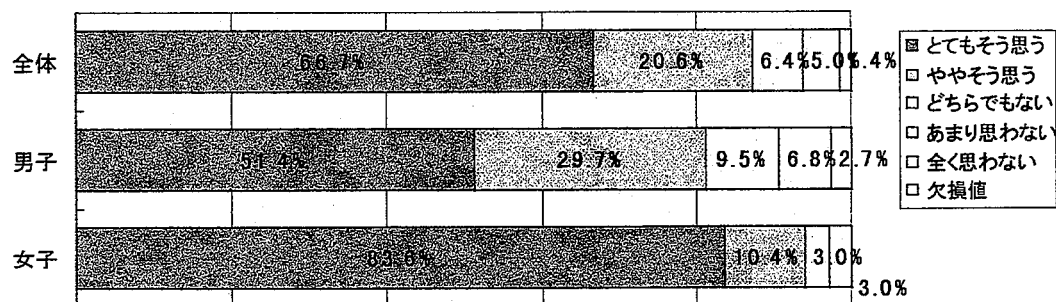


図2-2-2 無免許運転に対する意識